

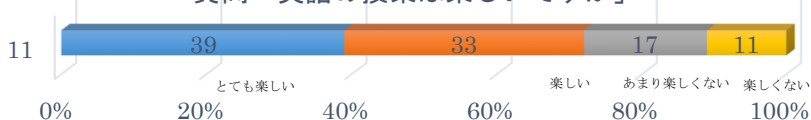
令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和7年度、児童にアンケートを行ったところ、「英語活動は楽しいですか」という質問に対し、「とても楽しい」、「楽しい」と回答した児童は、全体の72%でした。1・2年生のDVD視聴の様子を見ると、友達とペアになって音楽に合わせ、始めと終わりの挨拶を行ったり、英語の曲に合わせて、楽しそうに体を動かしながら歌ったりしていました。また、3・4年生の教室では、担任からの質問に対し、学んだ英語で答えるなど、自然に英語に親しむ姿が見られました。このことから、英語活動に対する抵抗感を感じていない児童が多いと考えます。ただその一方で、「あまり楽しくない」「楽しくない」と答える児童が昨年度より増えています。今後、全ての児童が、楽しく学ぶことができる工夫を考えていきます。

【資料1】児童のアンケート結果

質問「英語の授業は楽しいですか」



2 学校関係者評価結果

令和7年度に行った保護者向けのアンケートでは、「学校は、英語教育に力を入れていますか」という質問に対し、「よくあてはまる」22%、「ややあてはまる」56%、「あまりあてはまらない」22%でした。昨年度より、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた数値が下がっています。今後、保護者の方の理解を得ることができるよう改善を考えていきます。

【資料2】保護者のアンケート結果

質問「学校は、英語教育に力を入れていますか」



3 まとめ

資料1から、児童にとって「イングリッシュタイム」は、友達とコミュニケーションをとりながら、英語を学習できる時間となっていることが分かります。しかし、苦手意識をもっている児童もいます。うまくなくても英語を使って相手とやりとりをすることで、「伝わった」「楽しかった」と実感できる場を設けていきます。また、資料2の保護者のアンケートからは、「イングリッシュタイム」や全校での「ShowTime」の様子を公開したり、英語活動の様子をホームページなどで知らせたりするなど、活動についてより周知する場を設ける必要があります。今後、本校の英語活動に対して、保護者の方からの理解をさらに得られるよう、一層児童が楽しく英語活動に取り組み、慣れ親しむことができる教育活動を目指します。